



坂上建設株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 4月～2024年 3月)



発行日：2024年11月1日



環境省
エコアクション21
認証番号 0012160

I. ごあいさつ

坂上建設株式会社は、平成5年の設立以来、お客様の幅広いニーズにお答えする総合建設会社として、数多くの実績を積み重ね、地域社会の発展に全力を傾注してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、土木工事、建築工事、舗装工事、塗装工事、解体工事の各事業分野において地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組及び環境経営の継続的改善を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電気、ガソリン、軽油)
3. 事務所での廃棄物の削減を推進します。
4. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した住宅の建設を推進します。
7. 地域の環境美化活動を推進します。
8. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2017年6月1日

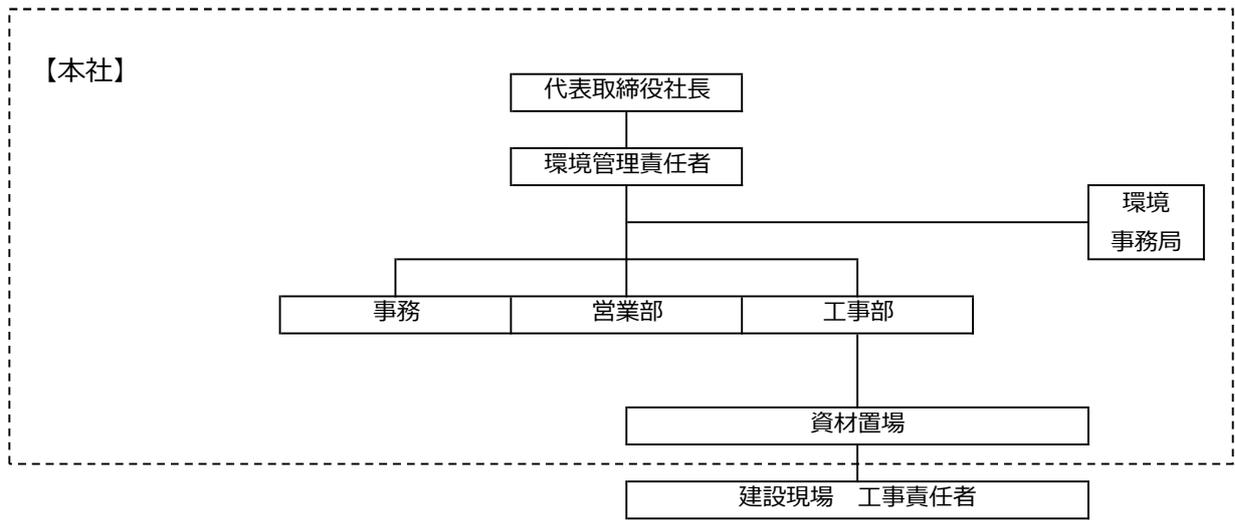
改訂日：2023年9月1日

代表取締役 坂上功治

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

- (1) 登録組織名 : 坂上建設株式会社
- 対象事業所 : 本社、資材置場
- 対象外 : 無
- 活動 : 土木工事業、建築工事業、舗装工事業、
塗装工事業、解体工事業

□ 環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 （現場代理人）	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場における環境経営システムの実施 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度 基準年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素	kg-CO2	51,562	54,936	57,425
電力 播州エナジー/(株)ハルエネ	kWh	18,224	20,668	21,435
電力 関西電力(株)	kWh	386	398	410
ガソリン	L	10,605	12,928	13,170
軽油	L	6,806	5,542	6,136
廃棄物排出量				
一般廃棄物	kg	510	500	500
産業廃棄物	t	645	644	849
水使用量	m ³	246	205	201

※化学物質は使用していない。(塗装は協力業者に外注)

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目	年度	単位	2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			基準年度				
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		51,562	50,531	50,015	49,500	48,984
	対基準			△2%	△3%	△4%	△5%
電力使用量削減 ※播州エナジー/(株)ハルエネ 排出係数 0.509	kWh		18,224	17,860	17,677	17,495	17,313
	kg-CO ₂		9,276	9,090	8,998	8,905	8,812
電力使用量削減 ※関西電力(株) 排出係数 0.318	kWh		386	378	374	371	367
	kg-CO ₂		123	120	119	118	117
ガソリン 使用量削減	L		10,605	10,393	10,287	10,181	10,075
	kg-CO ₂		24,603	24,111	23,865	23,619	23,373
軽油 使用量削減	L		6,806	6,670	6,602	6,534	6,466
	kg-CO ₂		17,560	17,384	17,209	17,033	16,858
II. 廃棄物排出量							
	一般廃棄物の削減	kg	510	500	495	490	485
産業廃棄物の削減	t		645	632	625	619	613
	対基準			△2%	△3%	△4%	△5%
建設リサイクル率の向上	%		52	54	55	56	57
	対基準			+2%	+3%	+4%	+5%
III. 水使用量の削減	m ³		246	241	239	236	234
	対基準			△2%	△3%	△4%	△5%
IV. 環境に配慮した施工の推進	件		5	6	6	6	6
	対基準			+1件	+1件	+1件	+1件

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は播州エナジー/(株)ハルエネ2020年度 0.509kg-CO₂/kWh
及び、関西電力(株)2020年度 0.318kg-CO₂/kWhを使用
達成度 = 目標 ÷ 実績 × 100%、増加を目指す場合は、達成度 = 実績 ÷ 目標 × 100%

(2) 2023年度の実績

項目		年度	取組期間の実績 (2023年4月～2024年3月)				
			2020年度 基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		51,562	50,015	57,425	87%	×
	対基準			△3%	+11%		
電力使用量削減 ※播州エナジー/ (株) ハルエネ 排出係数 0.509	kWh		18,224	17,677	21,435	82%	×
	kg-CO ₂		9,276	8,998	10,910		
電力使用量削減 ※関西電力 (株) 排出係数 0.318	kWh		386	374	410	91%	△
	kg-CO ₂		123	119	130		
ガソリン 使用量削減	L		10,605	10,287	13,170	78%	×
	kg-CO ₂		24,603	23,865	30,554		
軽油 使用量削減	L		6,806	6,602	6,136	108%	○
	kg-CO ₂		17,560	17,033	15,830		
II. 廃棄物排出量							
一般廃棄物の削減	kg		510	495	500	99%	△
	対基準			△3%	△2%		
産業廃棄物の削減	t		645	625	849	74%	×
	対基準			△3%	+32%		
建設リサイクル率の向上	%		52	55	40	73%	×
	対基準			+3%	△12%		
III. 水使用量の削減	m		246.0	239	201	119%	○
	対基準			△3%	△18%		
IV. 環境に配慮した施工の推進 (省エネ住宅の件数)	件		5	6	6	100%	○
	対基準			+1	+1		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度 = 目標 ÷ 実績 × 100(%)、
増加を目指す場合は、達成度 = 実績 ÷ 目標 × 100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（90%～100%未満）、×：未達成（90%未満）

注3) 建設リサイクル率の実績 = 再資源化量 / 産業廃棄物発生量

注4) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、
廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減	×	(目標未達成)
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減		(目標未達成)
・空調温度の適正化	△	クールビズも導入したが、猛暑日が続く適正温度を順守することが難しかった。次年度も体調不良にならないよう臨機応変に温度を調整していきたい。
・サーキュレーターを設置	○	頻繁に使用する部屋に設置できた。次回は積極的に活用する。
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。次回も継続する。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、もっとこまめに入・切の操作をする。次回も継続する。
ガソリン使用量の削減		(目標未達成)
・アイドリングストップ	○	積み下ろしの際も意識して取り組めた。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減		(目標達成)
・重機の空ふかしの禁止	○	今後もエコドライブに努めていく。
・アイドリングストップ	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・空気圧、オイル等の点検	○	次年度も、こまめな点検を継続する。
一般廃棄物の削減		(目標未達成)
・実態調査	○	適正な処理ができています。
・分別の徹底	○	分別は、きちんとできている。次年度も、左記取組を継続する。
産業廃棄物の削減		(目標未達成)
・実態調査	△	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。 今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
建設リサイクル率の向上		(目標未達成)
・分別によるリサイクル推進	○	引き続き、建設系廃棄物の分別・リサイクル推進していく。
・仮設資材の再利用の推進	×	現在、実施中である。次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減		(目標達成)
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけはできているが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	×	今後は、簡単なポスター等を掲示する
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
環境に配慮した施工の推進		(目標達成)
・省エネ住宅の建設 環境に配慮した省エネ性能の高い住宅建設の促進 (注) 省エネ住宅とは：ZEH/ゼロエネルギー住宅、高气密・高断熱・耐久性・耐震性などの機能を有した住宅	○	次年度も、左記取組を継続する。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守 事前調査及び調査結果の書面説明・交付及び説明書の写し保存(3年) 事前調査結果の記録作成・保存(3年) 知事への説明 下請負人への説明	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	消火設備の定期点検(防火対象物)、事故時の措置届出(通報)、危険物の届出・点検・基準遵守、指定数量未満の危険物保管の扱い、指定可燃物の扱い	遵守
姫路市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切処理 フロン類使用機器の簡易点検と記録・保存(廃棄後3年)及び廃棄時の適切な処理(フロン回収義務) (解体工事) 該当機器設置有無の確認、発注者への書面による説明・交付及び説明書面の写しの保存(工事終了後3年)	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んでいます。まだまだ不十分な部分があり、環境に対し勉強していくことは、とても大切であると考えます。

今期は二酸化炭素排出量の削減電力使用量の削減、ガソリン使用量の削減、産業廃棄物の適正管理、建築リサイクル推進が達成出来ませんでした。原因としては夏場の猛暑による熱中症防止、遠方の現場や大規模な現場が増えたことにあります。今後もそのような現場が増えるとは思いますが、社員一人ひとりが省エネに結び付いた活動を継続することで、経費削減やコスト削減に結び付け、結果としてCO2削減に結び付けていければと思います。

尚、【環境方針】、【環境経営目標・環境経営計画】、【実施体制】の変更の必要性はありません。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	有	全員が会社との往復を減らす努力や、節電、リサイクルの意識をもつ

2024年 9月 1日
代表取締役 坂上 功治

IX. 環境への取組の紹介

坂上建設株式会社では、毎週金曜日の早朝に本社近隣の清掃及び、地域の環境美化に向けてクリーン活動を行っております。社長自ら取り組むこのクリーン事業は、社員全員の向上心を高めるとともに、地域に思いやりを持って取り組んでおります。この取り組みは、雨の日も継続して行っており、人と環境が共存する社会を目指す取り組みをこれらも怠らず推進します。

